

## 研修のねらい

- 問題解決の手法を理解し、実際の職場での問題解決(=業務改善)につなげる方法を体得します。
- 自分で問題や課題を発見・解決していく自発的な職員を育成します。
- 自職場の問題発見・解決と職場への課題解決の働き掛けを通して、周りを巻き込む事の重要性を理解し、成長の実感に寄与します。

地方自治体を取り巻く環境の変化から、職場の業務改善や事業創造のための「問題発見力、問題解決力、アイデア発想力」がますます重要となっています。今後、自治体職員には、目の前の問題を適切に解決できるだけでなく、自ら問題や課題を発見し、解決策を立案・実行できることが求められ、問題解決力や発想力は、今や職種、階層を問わず、全ての職員が必須で身に付けるべき能力です。

この研修を通し、問題発見・解決力の強化、それに伴う自分の職場の業務改善をねらうとともに、政策を立案する際に必要となる能力の基礎を養います。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

## 1日コース

午前	1. 私たちを取り巻く環境の変化 (1) 地方自治体の今日の状況 (2) 職員の立場と役割 (3) 求められる能力 ◇ 私たちに求められる能力 ◇	3. 問題の抽出 (1) 現状型と目標型 (2) 自発的問題発見 (患病と問題意識の違い) (3) 他者からの発見
	2. 問題解決の全体像 (1) 問題の定義 ◇ 事前課題 ◇ 「職場の課題を見つける」から自身の問題を定義する (2) 問題解決の全体像 「問題→原因分析→解決策→実行計画」	
午後	4. 原因分析と解決策(発想力と創造力) (1) 原因分析の重要性 (2) Whyツリーの活用 (3) 発想力と創造力、アイデア思考 ①フレームワーク ②BS法(ブレインストーミング) ③KJ法	6. 総合演習 「職場の問題発見と解決策の創造」 (1) 事前課題の修正(個人ワーク) ・問題抽出→原因分析→解決策→実践計画 (2) トリオ発表 ・相互フィードバックとPDCA ◇ 問題解決演習 ◇
	5. 問題解決の実践計画 (1) 実行計画の第一歩 ・最初に巻き込む人の確認 ・説得の手段 (2) 解決策の実行	7. まとめ